



白聖

はくあ 第12号 令和3年3月25日発行



【第3回最難関大志望者合同進学合宿】

3月13日(土) 県主催の事業で、最難関大学を志望する本校・弘前高校・八戸高校・八戸北高校の生徒を対象として実施しました。今回も新型コロナウイルス感染防止の観点から3会場に分かれ、オンラインにて実施しました。

東京大学 総長補佐・先端科学技術研究センター 教授 稲見昌彦氏によるオンライン講演会では、大変貴重なお話を聞かせていただきました。

第3回 最難関大学志望者合同進学合宿 日程			
第1日 3月13日(土)			
午前の部		青高・八高・弘高(使用教室: 各校で決定)	
	8:15	10分	開講式 <zoomオンライン>
	8:25		
	休憩・準備・教室へ移動など 10分		
1	8:30	90分	国語(東大模試演習)
	10:00		
	休憩・準備・教室へ移動など 10分		
2	10:10	120分	東大教授から学ぶ(研究についての講義) <zoomオンライン> 東京大学 総長補佐・先端科学技術研究センター 教授 稲見昌彦 【各校生徒からの質問を受け付ける】
	12:10		
	12:10	50分	昼休み・昼食(各校の昼食会場)・休憩・準備・教室へ移動など
	13:00		
午後の部		青高・八高・弘高(使用教室: 各校で決定)	
	13:00	前半60分	国語の解説 <zoomオンライン>
	14:00		平川彩子先生(八戸高校)・倉内嗣先生(青森高校)
3			休憩・接続準備など 10分
	14:10	後半60分	国語の解説 <zoomオンライン>
	15:10		平川彩子先生(八戸高校)・倉内嗣先生(青森高校)
			休憩・準備・教室へ移動など 10分
	青高・八高・弘高(使用教室: 各校で決定)		
4	15:20	15分	閉講式・連絡網・解散 <zoomオンライン> (アンケート記入は各校で行う)
	15:35		

【1・2学年 第3回学力向上セミナー】

3月13日(土) 県主催の事業で、医学部医学科及び難関大学を志望する生徒を対象として駿台予備学校 仙台校講師によるセミナー(映像)が実施されました。



	時間帯	1年	2年
3/13(土)	1 9:30~10:20	英語	数学
	2 10:30~11:20	英語	数学
	3 11:30~12:20	英語	数学
	休憩		
	4 13:00~13:50	数学	英語
	5 14:00~14:50	数学	英語
6 15:00~15:50	数学	英語	

【進路総括会議】

3月22日(月) 今年度卒業生の3年間の指導を振り返り、目指した生徒像・集団作りのために、どの時期に、どういうことに重点を置いて、どのような指導をしてきたのかということについて理解するとともに、そこから見えてくる課題を明らかにし、次年度の学年経営・分掌運営に反映させるために実施しました。

【大学合格者による進路ガイダンス】

3月23日(火) 志望校決定の経緯や受験勉強について一般入試合格者(71回卒業生)から講話をしてもらい、進路決定の指針や受験勉強の参考にして意識を高めるために実施しました。

〔文類型〕北海道大学、弘前大学、岩手大学、宮城教育大学、東北大学、筑波大学、千葉大学

〔理類型〕北海道大学、弘前大学、東北大学、新潟大学、東京大学、東京都立大学、千葉大学、静岡大学、九州大学

【国公立大学合格者数 2021.3.23 現在】

※数字は延べ人数

大学名	推薦型総合型	前期	中期後期	計
旭川医大			2	2
帯広畜産大		2		2
北海道大		5		5
北教大釧路校			1	1
北教大函館校		1		1
室蘭工業大		1		1
弘前大	17	25	3	45
岩手大		7	5	12
東北大	12	10		22
宮城教育大		2	1	3
秋田大		2	3	5
山形大	1	8	4	13
福島大			2	2
茨城大		1	2	3
筑波大		1		1
宇都宮大		2		2
埼玉大		4	2	6
千葉大		5	1	6
東京海洋大			1	1
東京大		1		1
東京外大	1			1
東京学芸大	1	1		2
東京農工大			1	1

大学名	推薦型総合型	前期	中期後期	計
横浜国立大			2	2
新潟大	1	5	2	8
富山大		1		1
金沢大		2		2
信州大			2	2
静岡大		1		1
和歌山大		1		1
山口大		1		1
徳島大			1	1
九州大		1		1
国立大計	33	90	35	158
青森県立保健大	1			1
青森公立大		3		3
岩手県立大			1	1
秋田公立美術大			1	1
高崎経済大		1	4	5
東京都立大		3		3
長岡造形大	1	1		2
都留文科大	1			1
兵庫県立大			1	1
公立大計	3	8	7	18
総計	36	98	42	176

【新年度までにやっておきたいこと】

- ① 受験の最終目標である志望校を決める
- ② 受験までの学習目標とスケジュールを計画する
- ③ 出題傾向を分析する
- ④ 進捗状況を確認しながら計画を実行する
- ⑤ 必要に応じて計画を軌道修正する

①の志望校を決めることは、自分がこの先どこを目指して歩んでいけば良いかの指針となります。

②学習目標とスケジュールを計画するために、まずは志望校の入試制度や配点について、自分で確認しましょう。志望校の状況や情報を正しく理解しましょう。

③出題傾向を分析することも大切です。赤本やHPなどを参考にして、自分の目で見て確かめていきましょう。

④進捗状況を確認しながら計画を実行に移していきましょう。勉強した量も大切ですが、自分ができるようになった量を認識していくことで、成長を実感できるはずです。記憶する時期、整理する時期、演習する時期という見通しを持ちましょう。

⑤計画は1週間周期で立てていきましょう。大雑把すぎても、細かすぎても上手くいきません。その都度、調整・修正を繰り返しながら、自分に合った計画を確立していきましょう。

【進路指導主事より】

「今年度の入試を振り返って」

今年度の国公立大の合格発表が3/23ですべて終了しました。本校の結果は国公立合格総数176(昨年比+1)、東京大1(±0)、東北大22(+1)、国立医学科15(+7)でありました。共通テストが全体として振るわなかったことを考えれば、とてもよく頑張ったといえます。加えて高く評価したいのが、共通テスト自己採点の判定が思わしくない中でも第一志望を貫き勇気をもって出願したことです。そしてその結果としてC判定からの合格が非常に多いことであります。

ランクを下げた楽に合格できるところへ出願先を変更することは簡単です。しかし、そうはせずにあえて厳しい道を選んだのは、きちんとした進路選択を早いうちにできており、強い思いをもって受験に臨んだからに違いありません。皆さんはそのような志望校を見つけているのでしょうか。判定がAやBでなければ受験したくないと

考えている人はいませんか。私はC判定だから受験しないと考えるのであれば、そこは真の第一志望とは言えないのではないかと思います。

今年の前期試験のベネッセドッキング判定Cからの合格率は本校では58.5%でした。ベネッセではBは60%以上、Cは40%以上と公表しています。本校のこの結果を考えればC判定は本校ではB判定相当と言えます。これは、今後受験に向かう皆さんにとってとても励みになる結果だと思います。皆さんの模試の判定の見方も変わるのではないのでしょうか。しかし、これはC判定でも安全に合格できるということではありません。Cから受かるように生徒本人と私たち教師および生徒を支えてくれた保護者の方々が努力した結果なのです。そして、そのように努力できる素質は今の青森高校の皆さんに備わっているという証拠でもあります。だから、勇気をもって第一志望に向かって行ってほしいのです。(なお、C判定のうち前期で合格できなかった受験生のうち、52%が後期で国公立大学へ合格、33%が私大への進学を決めています)

先日、ベネッセコーポレーション東北支社長の岡安亮さんを講師として一学年生徒対象に進路講演会を行いました。要点を得た非常に良い講演でありましたが、その中で特に印象に残った言葉があります。それは、人生において特に重要な経験は「努力の末に手にした『成功』」であり、次に大切なのは「質の高い『失敗』」だという言葉です。とても深い言葉です。楽なことだけでは、豊かな人生はつかめないということです。本校では大学受験においてこれらの経験がなされるものと思います。今後社会で活躍する人材になるためには、是非ともこの「努力の末に手にした成功」を手に入れてもらいたいと思います。今後受験に向かう1年生・2年生の皆さんも、この春卒業した3年生に続いて勇気をもって受験をし、必死に努力し、そして最後に合格という成功体験をつかんでももらいたいと思います。

今後の頑張りを強く期待します。

令和3年3月

青森県立青森高等学校

進路指導主事 玉田 英徳